

# お口を清潔にするメリット

## 1 術後の合併症(肺炎等)を予防し 早期退院に

手術後等の免疫が低下している状態では、お口のなかの細菌による感染症にかかりやすくなります。口腔ケアをおこなって、合併症を予防しましょう。

## 2 全身疾患の予防

歯周病菌などの感染症が、全身疾患(糖尿病・動脈硬化など)を引き起こす原因となります。また唾液等が気管に入り込んでしまったとき、唾液の細菌が原因で肺炎を起こしやすくなります。お口の中の細菌を減らすことで全身疾患の予防もできます。

## 3 お口の機能の維持

食べる、飲む、呼吸をする、会話をする等、お口の果たす役割は生活において大変重要です。健康な生活を送るためにはまず、お口の健康が大切です。

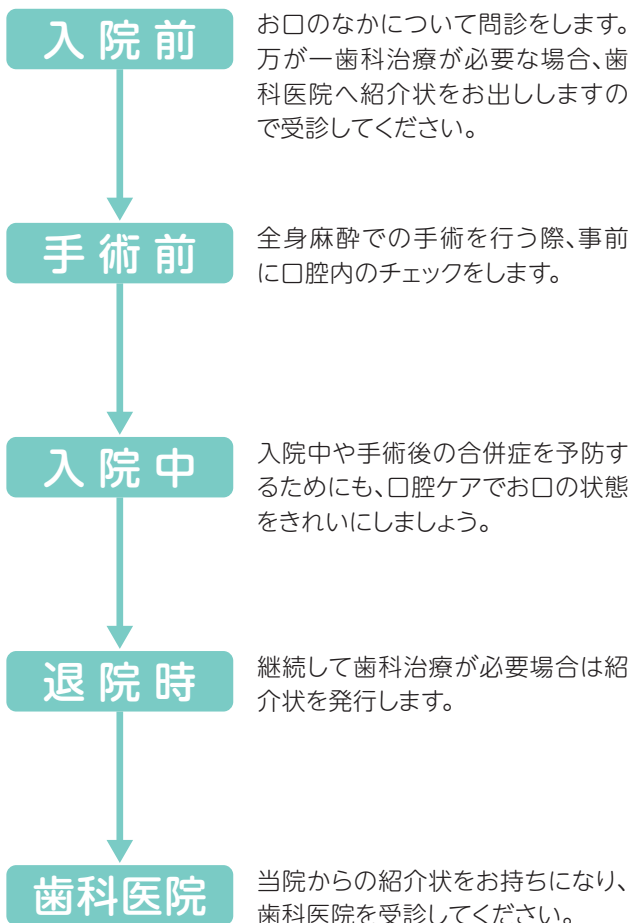
## 4 食欲増進・意欲向上に

お口の状態が悪くなり、食事が少なくなることに関係し、体力、意欲が低下します。お口の状態を向上させ、体力や意欲向上につなげましょう。

## 5 コミュニケーション機能の回復

お口は食事以外にも、会話などのコミュニケーションに必要です。口内環境を改善することで口臭を防ぐこともでき、気持ちよく会話することができます。

# 当院での口腔管理



# お口の健康管理で 合併症予防を ～口腔ケアのすすめ～

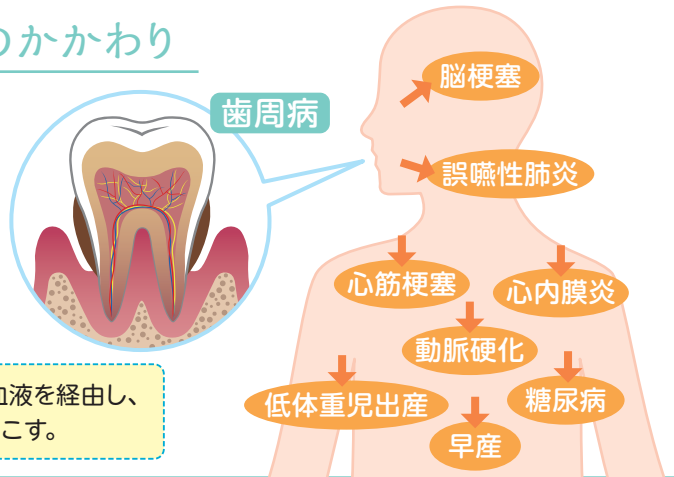
糖尿病・  
心疾患などの  
病気で入院  
される方

高齢の方・  
介護が  
必要な方

手術・  
がん治療・  
化学治療を受け  
られる方

## 歯周病と全身のかかわり

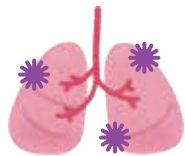
歯周病はお口の中の病気のひとつではありますが、身体の中の様々な状態とも関連しているため、身体にも影響を及ぼすことがわかってきました。



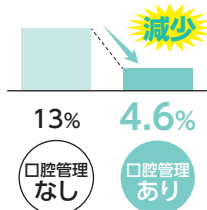
お口の中の細菌が誤嚥や血液を経由し、全身へと流れ疾患を引き起こす。

## 手術・化学療法・放射線療法などを受ける方

全身麻酔による手術では、口から気管チューブを挿入します。気管チューブを挿入する際、口の中にいる何億という非常に多くの口腔細菌を肺に押し込めてしまうことで肺炎や気管支炎といったリスクが生じます。また動揺した歯がチューブに当たり飲み込んでしまったり、気管に入ってしまう可能性があります。また、ガンによる化学療法や放射線療法、骨髄移植では口内炎が副作用として出現します。そこで、これらの治療前にも口腔ケアを行うことで口内炎の発生頻度をおさえることができます。



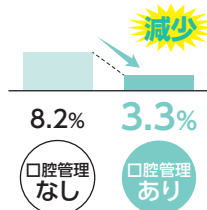
手術後肺炎



肺がん術後肺炎の発症頻度  
岡山大学



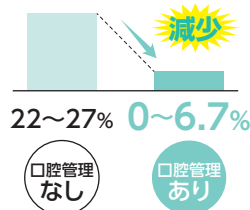
手術創部感染



消化器外科症例による手術部位感染  
横浜市立市民病院 2016



抗がん剤・放射線による口内炎



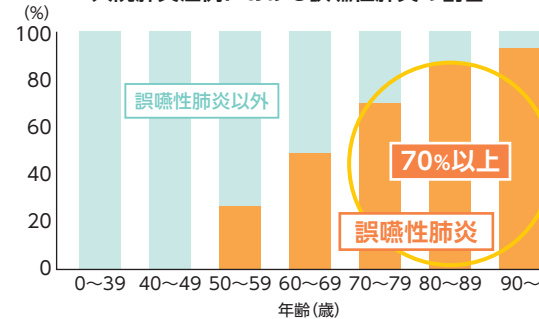
周術期口腔機能管理  
近畿大学 歯科口腔外科 2015



※オーラルフレイルQ&Aより引用  
著者：平野浩彦、飯島勝夫、渡邊裕

## 誤嚥性肺炎に

入院肺炎症例における誤嚥性肺炎の割合



年齢が上がると誤嚥性肺炎になる方が増加します。

### オーラルフレイルとは

年齢とともに口腔の筋肉や活力が衰え、しっかりかめない、うまくのみこめないなど、歯・口の様々な機能が虚弱になることをいいます。

### 誤嚥性肺炎とは

本来、食道を通るはずの食べ物や唾液が日常的に誤って気管に入り込み、唾液とともに流れ込んだ口の中の細菌が肺で繁殖して炎症を起こしてしまう病気をいいます。

～お口の健康は明日への活力～  
「かかりつけ歯科医を持ちましょう」